

Takara standard

小型電気温水器 取扱説明書

保証書付

先止め式、減圧弁・逃し弁内蔵、据え置き型
適温出湯タイプ（屋内設置専用）

品番

EH-06



もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
ご使用にあたってのお願い	4
各部の名称と働き	5
ご使用前の準備	7

ご使用方法

運転（湯沸し）のしかた	8
給湯のしかた	9

メンテナンス

日常のお手入れ	10
使用しないときは	14
停電・断水・水道工事のときは	16
凍結予防のしかた	16
定期点検のおすすめ（有料）	17

こんなときは

よくあるご質問	18
故障・異常の見分けかたと処置方法	19
仕様	20
保証書	23
アフターサービス	裏表紙

このたびは、タカラスタンダード 小型電気温水器 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ◆ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に、「安全上のご注意」については、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
- ◆この取扱説明書は、設置説明書、付属品とともに、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。
- ◆この取扱説明書は保証書付です。販売店からお受け取りになる際に、保証書に販売店名、お買い上げ日などが記入されていることを、必ずお確かめください。

安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。	注意 誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容。
--	--

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

禁止行為(してはいけないこと) 絶対に行わないでください。	行為の指示(必ずすること) 必ず指示に従って行ってください。
----------------------------------	-----------------------------------

警告

電気温水器本体

アース工事 (D 種接地工事) されているか確認すること 故障や漏電の時に感電の原因になります。アースの取り付けは販売店にご相談してください。 アース線接続	
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないこと 禁止 電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。	
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないこと 禁止 感電、ショート、発火の原因になります。	電源プラグは、濡れた手で抜き差ししないこと 禁止 感電の原因になります。
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないこと 禁止 火災の原因になります。	カバー・点検窓を開けないこと 禁止 感電の原因になります。
温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと 禁止 発火の原因になります。	温水器に水をかけないこと 禁止 感電、故障の原因になります。
逃し弁点検時は、配管や膨張水の排水ホースに手をふれないこと 禁止 やけどの原因になります。	絶対に分解・修理・改造しないこと 禁止 火災、感電、けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
異常・故障時には、直ちに使用を中止すること 発煙、発火、感電、やけどの原因になります。 必ず実行 次のようなことがある場合は、すぐに使用を中止し、故障や事故防止のため、販売店（据付工事店）または修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・使用中にこげくさい臭いがしたり、異常な音や振動がする。 ・設置場所が濡れている。 ・お湯がぬるい。 ・漏電しゃ断器が動作する。 ・その他の異常・故障がある。 	

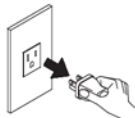
➡ 裏表紙 アフターサービス

使用の前に

⚠ 警告

電気温水器本体（つづき）

! 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って、必ず実行 引き抜くこと
感電、ショート、発火の原因になります。



! 電源は、定格15A以上の交流100V専用コンセント（接地極付）を必ず実行 使用すること
火災、感電の原因になります。



! 分電盤等に、漏電しゃ断器、温水器専用の電源ブレーカーが取り付けられているか確認すること
必ず実行 感電、火災の原因になります。

! お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
必ず実行 感電の原因になります。

! 1か月に1回程度、電源プラグの刃などについたホコリを取り除くこと
必ず実行 火災の原因になります。
➡ P11 日常のお手入れ

! 排水は、必ずお湯を使い切ってから行うこと
必ず実行 やけどの原因になります。

! 空気吸込みせんを操作するときは、必ずお湯を使い切って、冷めたことを確認してから操作すること
必ず実行 やけどの原因になります。

! 屋外や表面に結露が生じるような湿気の多い場所、水がかかる場所、特に浴室やシャワールームに取り付けられていないか確認すること
必ず実行 感電、誤動作の原因になります。



給湯

⊘ 給湯時は、湯水混合せんのハンドル以外の部分に手を触れないこと
禁止 やけどの原因になります。

⊘ 給湯時は、熱湯に触れないこと
禁止 やけどの原因になります。

⚠ 注意

電気温水器本体

⊘ この機器は、車両、船舶での使用はできません
禁止 機器が故障し、感電、水漏れの原因になります。

⊘ 機器に乗ったり、濡れたものや洗剤などを乗せたり、配管に力を加えたりしないこと
禁止 故障、事故、やけど、水漏れの原因になります。

! 水道水を使用していることを確認すること
必ず実行 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。井戸水、地下水、温泉水は、使用できません。水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれている水質や酸性水質での使用は避けてください。機器のつまりや腐食など、故障の原因になります。

! 1か月以上使用しないときは、必ず、電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグをコンセントから抜き、温水器と配管内の水を確実に抜くこと
必ず実行 絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。凍結のおそれや水質が変化することがあります。1か月未満の使用しないときでも凍結のおそれがあるときは、排水してください。
➡ P14 使用しないときは

⚠️ 注意

電気温水器本体（つづき）

<p>! タンクを満水にしてから電源を入れること 過熱し、故障の原因になります。</p> <p>必ず実行 ➡ P7 ご使用前の準備</p>	<p>! 落雷の可能性がある場合は、あらかじめ 電源プラグをコンセントから抜いておくこと 故障の原因になります。</p> <p>必ず実行</p>
<p>! 凍結予防対策の確認をすること 凍結するとタンクや配管が破裂して、 やけどや水漏れの原因になります。</p> <p>必ず実行 ➡ P16 凍結予防のしかた</p>	<p>! 逃し弁の点検をすること タンクが破損したり、逃し弁などからの 水漏れにより、やけどや大きな被害に つながります。 ➡ P10 日常のお手入れ</p>
<p>! 水漏れがないか点検すること 水漏れが起きた場合、階下などに 被害を及ぼすおそれがあり、大きな 被害につながる可能性があります。</p> <p>必ず実行</p>	<p>! 逃し弁のレバーを操作するときは、レバーを しっかりとつまみながら操作すること しっかりとつままないで操作した場合、 レバーと弁の間に指をはさむおそれがあります。</p> <p>必ず実行</p>
<p>! 冬場に漏電しゃ断器、電源ブレーカー、電源スイッチを「OFF（切）」にするときは、 水抜きを確実にすること</p> <p>必ず実行 配管が凍結し、水漏れの原因になります。</p> <p>➡ P14 使用しないときは</p>	

給湯

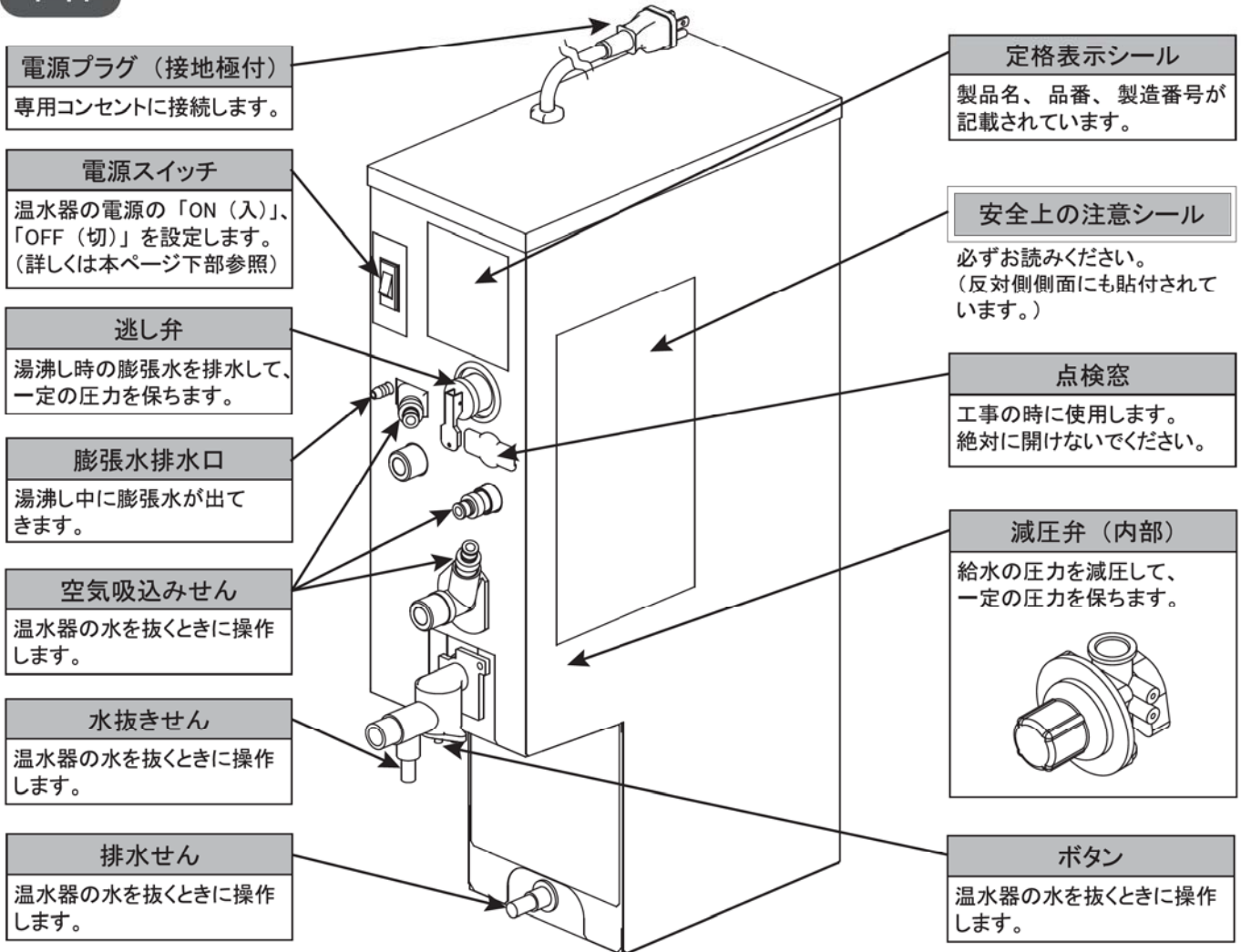
<p>禁止 温水器のお湯およびお湯が混ざった水は、そのまま飲用しないこと</p> <p>長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管の劣化などにより水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記のことに注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は雑用水としてお使いください。 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに販売店（据付工事店）へ点検の依頼を行ってください。
<p>! 湯を出し始めるときは、必ず水側から出すこと やけどの原因になります。</p> <p>必ず実行 ➡ P9 給湯のしかた</p>

ご使用にあたってのお願い

<p>●お湯を上手に使うこと</p> <p>一度に使用できるお湯の量には限りがあります。お湯は出し放しにしないでこまめに止めましょう。</p>	<p>●温水器の給水配管止水せんがどこにあるか確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 温水器の水抜き、万一の水漏れ、故障の際に閉じると水が止まります。 ふだん温水器を使用しているときは、開いておきます。
---	---

各部の名称と働き

本体

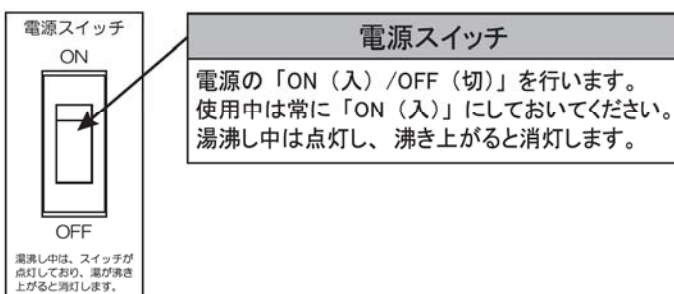


ご使用前に

【お知らせ】

○温水器内で漏水が発生した場合、ブザーが鳴ります。ただし、電源プラグをコンセントから抜いている場合や、停電などで温水器に電源が供給されていない場合、ブザーは鳴りません。
(電源スイッチが「OFF (切)」であっても、温水器に電源が供給されていれば、漏水が発生した場合、ブザーは鳴ります。)

操作部 (電源スイッチ)



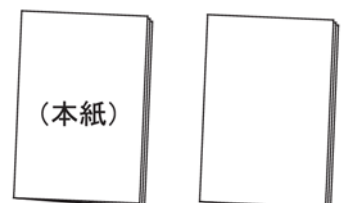
【お知らせ】

○電源スイッチを「OFF (切)」にしても、温水器に電源が供給されている場合、漏水検知機能が動作するための電力を消費します。

付属部品

温水器に付属されている部品です。すべて揃っているか確認してください。

- ・排水用ビニールホース (φ9、250mm) 2本
- ・取扱説明書 1部
- ・設置説明書 1部



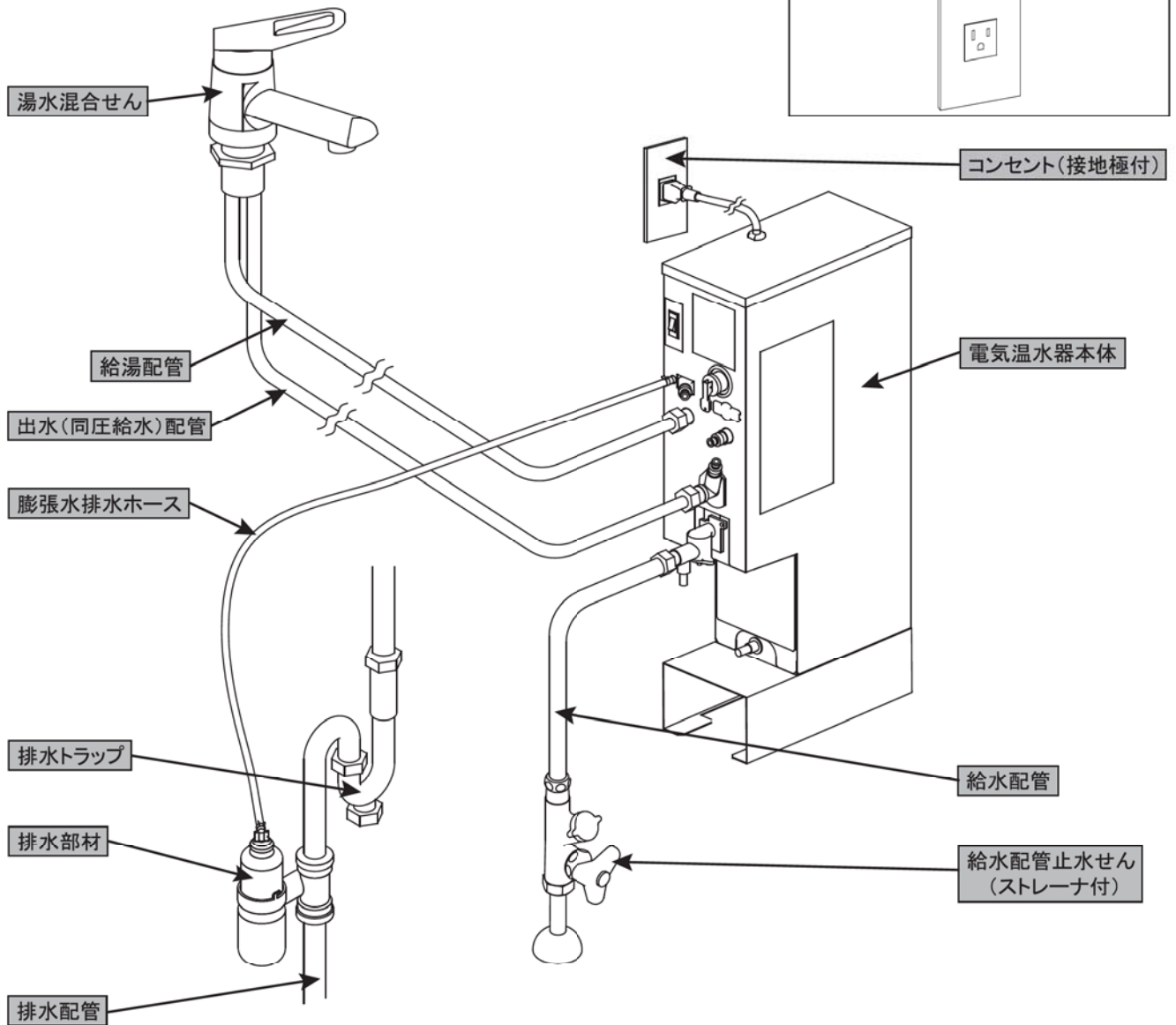
各部の名称と働き

本体据付図例

標準配管例

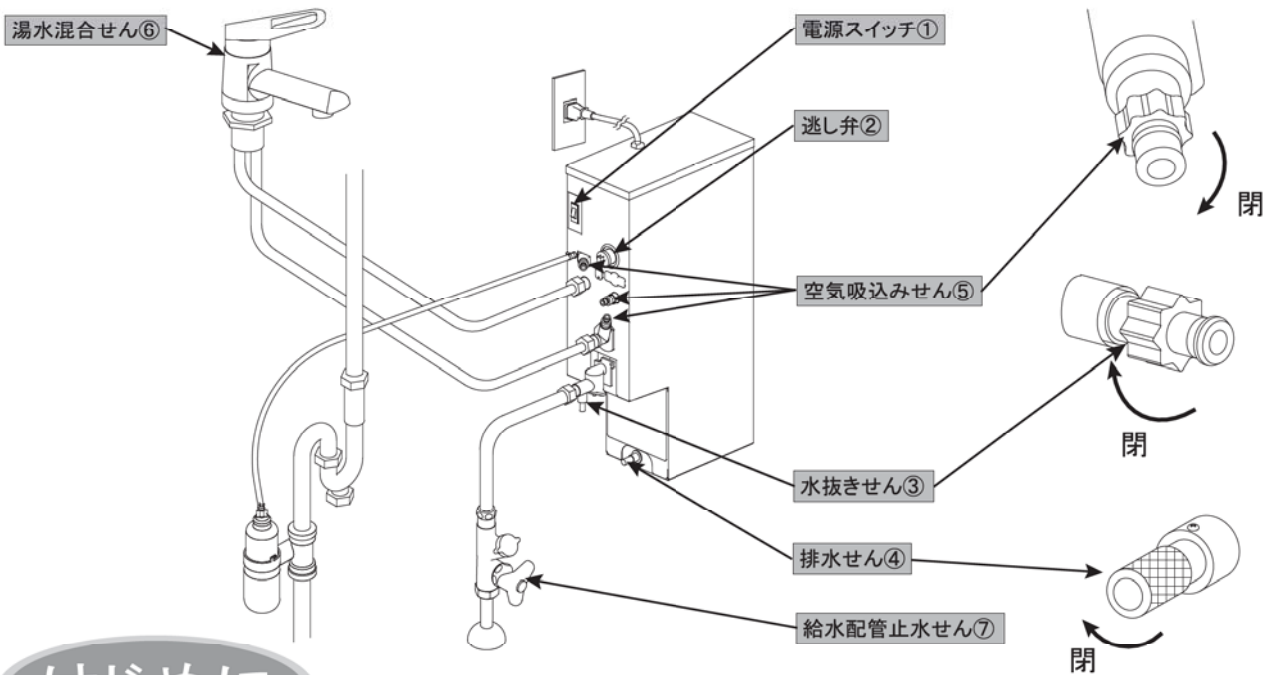
設置場所、湯水混合せんなどにより、配管が異なる場合があります。

使用前に



ご使用前の準備

温水器の使い始めや、水抜き後に温水器を使い始める場合は、次の手順で操作してください。
方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。



はじめに

1. 正しくご使用いただくために、湯水混合せんなどの取扱説明書をよくお読みください。
2. 感電防止のために、アース工事（接地極付コンセントの使用）がされていることを確認してください。
3. 電源スイッチ①が「OFF（切）」になっていることを確認してください。

⚠ 注意

温水器の満水を確認するまでは、絶対に電源を入れないでください。
過熱し故障の原因となります。



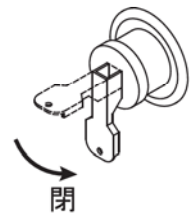
1

給水の準備をします。

1. 逃し弁②のレバーを下げ、水抜きせん③、排水せん④、空気吸込みせん⑤（3か所）を閉めます。（排水後などですでに下がっていたり、閉じている場合があります。）

⚠ 注意

水抜きせん、排水せん、空気吸込みせんが開いていると、給水時にそこから水が出てきます。確実に閉じてください。



2

温水器を満水にします。

1. 給水配管止水せん⑦を開きます。（温水器への給水が始まります。）
2. 湯水混合せん⑥より連続的に水が出ることを確認し、湯水混合せん⑥を閉めます。
3. 温水器や配管からの水漏れがないか確認してください。

【お知らせ】

- 温水器が空の状態から、満水になるまで約1分です。
- 給水中に湯水混合せんから水と空気が混ざりボコボコと音がすることがありますが、異常ではありません。水が連続して出るまでお待ちください。

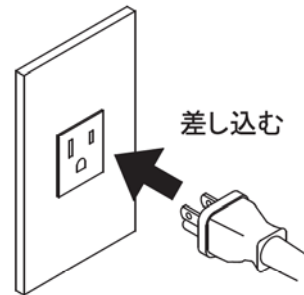
運転(湯沸し)のしかた

⚠ 注意

温水器の満水を確認するまでは、絶対に電源を入れないでください。過熱し故障の原因となります。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源プラグは温水器専用の 15A 以上のコンセントに根元まで確実に差し込みます。

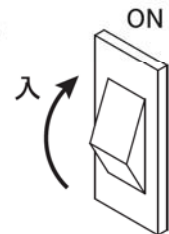


⚠ 注意

電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていないと、火災や感電の原因になります。

2 電源スイッチを「ON (入)」にします。

約 75℃ になるまで湯沸しを行います。(湯沸し温度は沸き上がり直後のタンク内の温度です。沸き上がり温度は約 1 ~ 5℃ ばらつくことがあります。) 湯沸し中は電源スイッチが点灯し、お湯が沸き上がると自動で消灯します。タンク内の湯温が下がると再び湯沸しを開始します。



湯沸し中

沸き上がり後



点灯



消灯

●沸き上がる時間の目安

タンク内温度 (タンク全量が給水温度の時)	5℃(冬期)	15℃	25℃(夏期)
沸き上がる時間の目安	約 55 分	約 47 分	約 39 分

●使える湯量の目安 (温水器からの給湯温度は約 36℃です。)

タンク内温度 (タンク全量が沸き上がっている時)	75℃		
給水温度	5℃(冬期)	15℃	25℃(夏期)
使える湯量の目安	約 13.5L	約 17L	約 27L

ご注意

- 一度に使えるお湯には限りがあります。お湯を出しっぱなしにしないで、湯水混合せんをこまめに止めるなど、上手にお湯をご使用ください。
- 冬期など、凍結のおそれがある場合は、電源スイッチを「OFF(切)」にしないでください。

給湯のしかた

温水器からの給湯温度は約 36℃です。

※給湯温度の調節はできません。給湯温度は、環境およびタンク内の温度によって多少上下することがあります。

※サーモスタット付湯水混合せんは使用できません。

※湯水混合せんの操作方法の詳細は、湯水混合せんの取扱説明書にしたがってご使用ください。

警告

やけどの原因になりますので以下のことに注意してください。

- ・給湯時は湯水混合せんのハンドルやレバー以外には触れないでください。
- ・給湯時は必ず水側から開けてください。
- ・湯沸し中の給湯や沸き上がり後の最初の給湯時は、空気の混ざったお湯が飛び散ることがあります。
- ・使用後は、シングルレバー湯水混合せんの場合、必ずレバーを水側に回してから閉めてください。ツーハンドル湯水混合せんの場合、必ずハンドルを湯側から閉めてください。再使用時に熱いお湯が出ることがあります。

シングルレバー湯水混合せんの場合

- 1 温度調節レバーを一旦、水側に回して水を出してください。



- 2 温度調節レバーを徐々に湯側に回して、温度を調節してください。

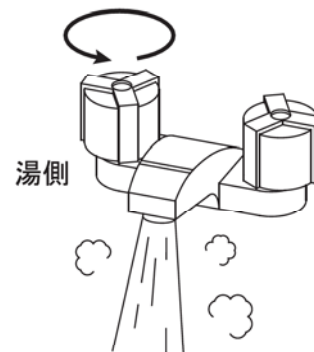


ツーハンドル湯水混合せんの場合

- 1 水側を開け、水を出してください。

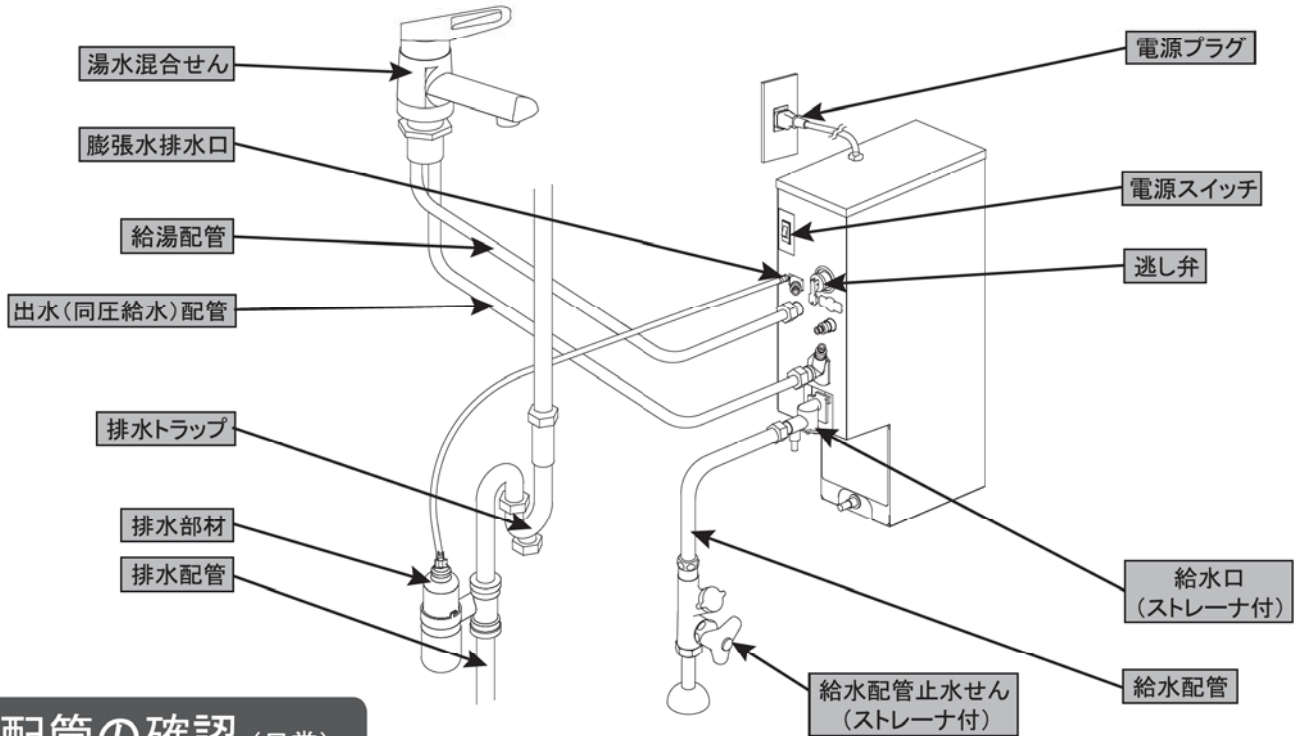


- 2 湯側を開けて、温度を調節してください。



日常のお手入れ

長く快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが必要です。
安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋などの着用をおすすめします。



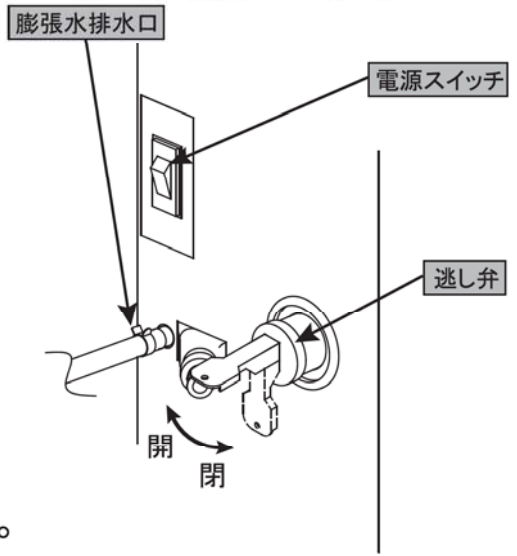
配管の確認 (日常)

配管の保温材破損や水漏れなどがいないか確認します。
マンションなどの中・高層住宅で水漏れが起きた場合、階下に被害を及ぼすことがあります。

逃し弁の確認 (1年に2~3回)

- 1 電源スイッチを「OFF (切)」にしたとき、または、電源スイッチが点灯していないときに、膨張水排水口から水（お湯）が出ていないことを確認します。
- 2 逃し弁のレバーを上げて、膨張水排水口から水（お湯）が排水部材に流れることを確認します。

⚠ 警告
膨張水排水口より熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください
⚠ 注意
逃し弁のレバーを操作するときは、レバーをしっかりとつまんで操作してください。しっかりとつままないで操作した場合、レバーと弁の間に指をはさむおそれがあります。



- 3 逃し弁のレバーを下げて、膨張水排水口から水（お湯）が止まることを確認します。

メンテナンス

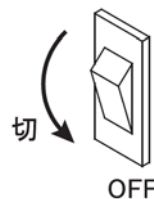
電源プラグの清掃 (1か月に1回)



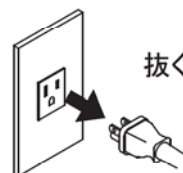
警告

電源プラグは濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

1 電源スイッチを「OFF (切)」にします。



2 電源プラグをコンセントから抜き、電源プラグやコンセントに付いたホコリを取り除きます。



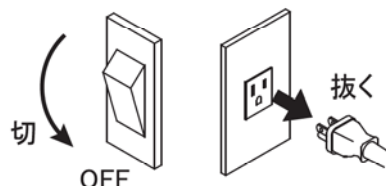
3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON (入)」にします。



給水配管止水せんのストレーナ、給水口のストレーナの清掃

(湯や水の出が悪くなった場合)

1 電源スイッチを「OFF (切)」にして、電源プラグをコンセントから抜きます。



2 給水配管止水せんを閉め、湯水混合せんを湯側と水側ともに開き、お湯 (水) が出てなくなるのを確認したら、湯水混合せんを閉めます。

※湯水混合せんの操作方法は、湯水混合せんに付属されている取扱説明書に従ってください。

3 給水配管止水せんのストレーナをはずし、ストレーナについたゴミを取り除きます。

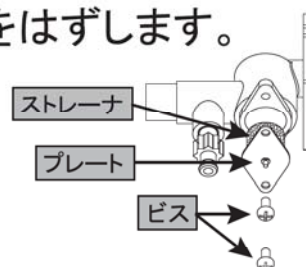
※ストレーナをはずすと配管内の残水が出てきますので、洗面器などで受けてください。

4 給水配管止水せんのストレーナを取り付けます。

5 給水口のビス2本をコインなどではずし、プレートをはずします。

※プレートにストレーナがついています。ストレーナをはずすと配管内の残水が出てきますので、洗面器などで受けてください。

6 ストレーナについたゴミを取り除きます。



7 プレート (ストレーナ) を元通りに取り付けます。

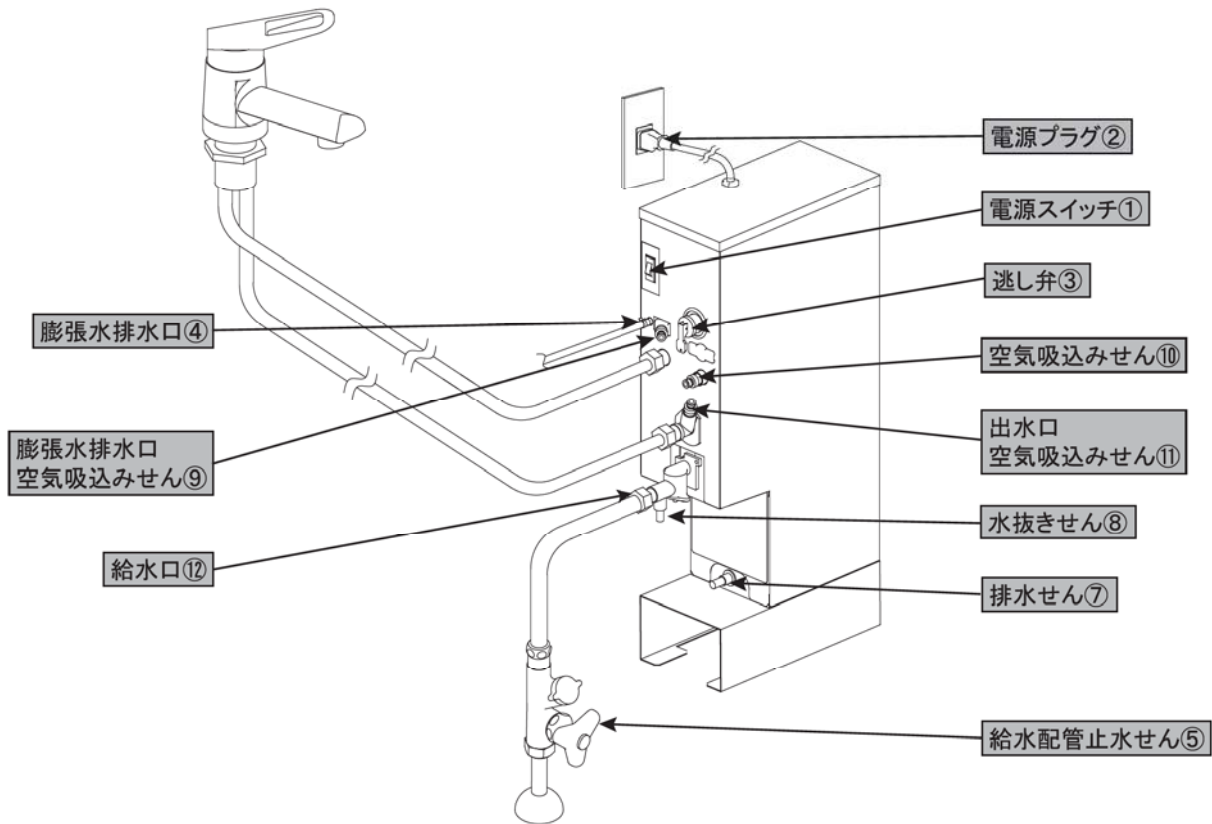
8 P7「ご使用前の準備」の項にしたがって、温水器への給水を行い、再びご使用ください。

日常のお手入れ

タンク内の清掃 (1年に2~3回)

温水器の排水、給水を行い、汚れを流し出します。

1. 清掃準備 (温水器の排水)

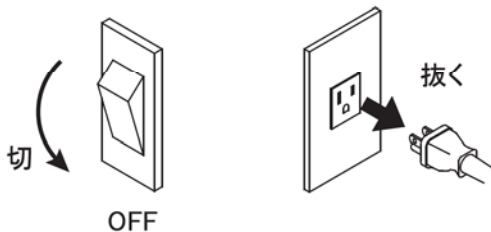


メンテナンス

- 1** 電源スイッチ①を「OFF (切)」にして、電源プラグ②をコンセントから抜きます。

⚠ 警告

電源プラグは濡れた手で触らないください。感電の原因になります。

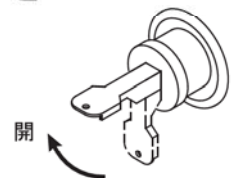


- 2** 温水器のお湯を使い切ります。

⚠ 警告

タンクにお湯が残ったまま排水すると、やけどをするおそれがあります。必ず湯水混合せんからのお湯が水になるまで使ってから排水してください。

- 3** 逃し弁③のレバーを水平に上げます。

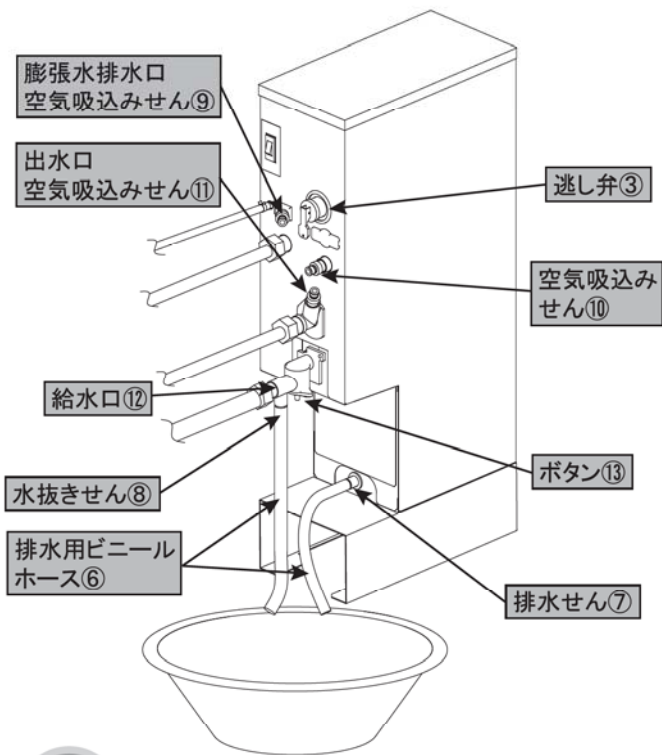


⚠ 注意

逃し弁のレバーを操作するときは、レバーをしっかりとつまんで操作してください。しっかりとつままないで操作した場合、レバーと弁の間に指をはさむおそれがあります。

- 4** 約20秒間、膨張水排水口④より水が出ることを確認し、逃し弁③のレバーを下げます。

- 5** 給水配管止水せん⑤を閉めます。

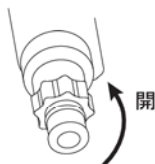


6 温水器付属の排水用ビニールホース⑥を排水せん⑦、水抜きせん⑧にそれぞれ取り付けます。ホースの先を洗面器などで受けてください。

7 排水せん⑦を全開にします。排水せん⑦より少量の水が出ることがあります。



8 膨張水排水口空気吸込みせん⑨を約1回転開けます。



9 逃し弁③のレバーを水平に上げ、排水します。

- ・ 逃し弁③のレバーを上げると、排水せん⑦より排水が始まります。
- ・ 排水せん⑦の差し込み部から水がしみだしてることがあります。
- ・ 約 6L の水が排水されます。
- ・ 排水を一旦止めたいときは、逃し弁③のレバーを下げると止まります。
- ・ 排水するのに約 20 分かかります。

注意

逃し弁のレバーを操作するときは、レバーをしっかりつまんで操作してください。しっかりとつままないで操作した場合、レバーと弁の間に指をはさむおそれがあります。

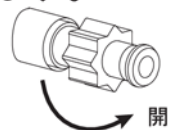
10 排水せん⑦から水が出なくなったら、空気吸込みせん⑩を1回転開け、排水します。

排水せん⑦から水が排水されます。



11 排水せん⑦から水が出なくなったら、水抜きせん⑧、出水口空気吸込みせん⑪をそれぞれ約1回転開け、給水口⑫のボタン⑬を押します。

- ・ 水抜きせん⑧より排水されます。
- ・ 排水せん⑦からも少量の水が排水されます。



注意

水抜きせんを開けすぎると、水抜きせんが外れ、水抜きせん差し込み部から水が出てきます。

2. 清掃

1 P12「1.清掃準備(温水器の排水)」の項にしたがって、温水器内の水を排水します。

2 P7「ご使用前の準備」の項にしたがって、温水器への給水を行います。

3 排水がきれいになるまで **1** と **2** を繰り返します。

4 排水がきれいになったら、**2** を行って、再びご使用ください。

使用しないときは

長期不使用时（温水器を1か月以上使用しないとき）

凍結によるタンクや配管の破損、水漏れの防止とタンク内の水を清潔に保つために水抜きをしてください。

冬期など凍結のおそれがある場合

1 P12「タンク内の清掃」の「1. 清掃準備（温水器の排水）」の項にしたがって、温水器内の水を排水します。

2 湯水混合せんを開けます。

※湯水混合せんは、仕様によって開ける位置が異なります。

- ・シングルレバー湯水混合せんの場合、湯側と水側の中間位置で開けてください。
- ・ツーハンドル湯水混合せんの場合、湯側と水側の両方を開けてください。

※排水せん⑦や水抜きせん⑧より水が出てきます。

ご注意

湯水混合せんの水抜きは、湯水混合せんの取扱説明書にしたがって行ってください。

3 排水部材⑭の下部（カップ）をはずし、下部にたまっている水を捨てます。

※排水部材⑭の取付位置は施工状況によって異なります。

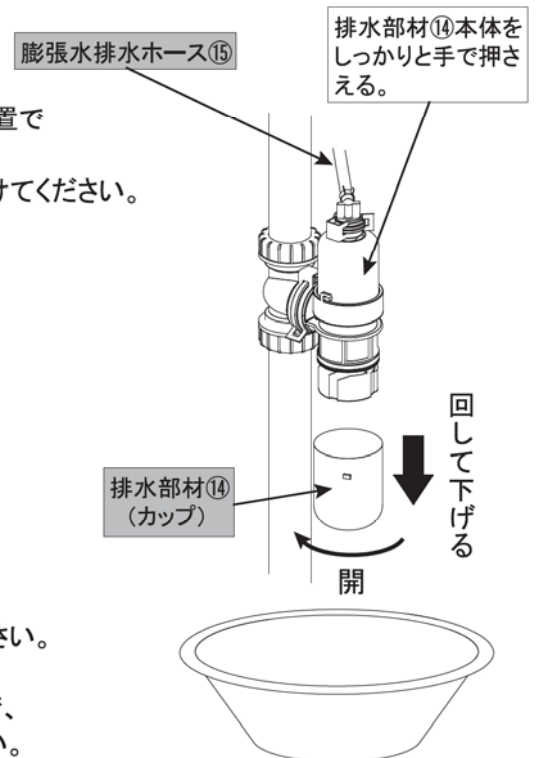
P6「各部の名称と働き」の「本体据付図例」を参考にしてください。

※カップをはずすときは、下を洗面器などで受けてください。

※膨張水排水ホース⑮に水がたまっている場合がありますので、

ホースを傾け、ホース内の水を排水部材⑭に排水してください。

※カップをはずすときは、排水部材⑭の本体をしっかり手で押さえてください。



4 排水部材⑭本体からの排水が止まったことを確認し、排水部材⑭の下部（カップ）を元通りに取り付けます。

5 排水せん⑦、水抜きせん⑧からの排水が止まったことを確認し、逃し弁③のレバーを下げ、湯水混合せん、排水せん⑦、水抜きせん⑧、膨張水排水口空気吸込みせん⑨、空気吸込みせん⑩、出水口空気吸込みせん⑪を閉めます。

再びご使用になるときは ➡ P7 ご使用前の準備

夏期など凍結のおそれがない場合

- 1 P14「冬期など凍結のおそれがある場合」の ① と ② にしたがって温水器内の水を排水します。
- 2 排水せん⑦、水抜きせん⑧からの排水が止まったことを確認し、逃し弁③のレバーを下げ、湯水混合せん、排水せん⑦、水抜きせん⑧、膨張水排水口空気吸込みせん⑨、空気吸込みせん⑩、出水口空気吸込みせん⑪を閉めます。

再びご使用になるときは ■➡ P7 ご使用前の準備

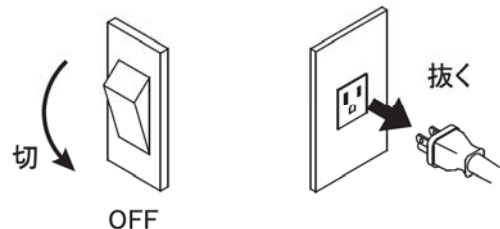
短期不使用時（温水器を1か月未満で使用しないとき）

電源スイッチ及び、給水配管止水せん的位置は、P12「タンク内の清掃」の項の「1.清掃準備(温水器の排水)」の図を参考にしてください。

- 1 温水器の電源スイッチ①を「OFF（切）」にし、電源プラグ②をコンセントから抜きます。

警告

電源プラグは濡れた手で触らないでください。
感電の原因になります。



- 2 給水配管止水せん⑤を閉めます。

再びご使用になるときは、タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

ご注意

凍結のおそれがあるときは、1か月未満の使用しないときでも P14「長期不使用時」の項の「冬期など凍結のおそれがある場合」にしたがって水抜きをしてください。

停電・断水・水道工事のときは

停電のとき

- ・ 停電直後、しばらくは給湯することはできますが、湯沸しはできません。

断水・水道工事のとき

- ・ 断水や水道工事のときは、給水配管止水せんを閉じてください。
- ・ 断水や水道工事終了後、本温水器を接続していない湯水混合せんの水側を開けて、濁った水が出なくなったのを確認してから給水配管止水せんを開けてください。

ご注意

濁った水が温水器内に入ると、温水器給水口のストレーナや給水配管止水せんのストレーナを詰まらせてお湯の出が悪くなったり、温水器内のお湯を濁らせてしまう場合があります。また、故障の原因になります。

凍結予防のしかた

冬期は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で気温が0℃以下になることがあります。配管が凍結すると温水器が使えないばかりか、温水器や配管が破損することがあります。地域にあった方法で凍結予防をしてください。

凍結防止ヒーターを巻く方法

- ・ 凍結のおそれがあるすべての配管に市販の凍結防止ヒーターを巻き、通電して凍結を予防します。
- ・ 凍結防止ヒーターが施工されている場合、寒冷時になる前に凍結防止ヒーターの差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。

水を抜く方法

- ・ 温水器や排水部材などの水を抜き、凍結を予防します。
- ・ P14「長期不使用時」の「冬期など凍結のおそれがある場合」にしたがって、水抜きをしてください。

定期点検のおすすめ(有料)

温水器を長年にわたり安心して快適にご使用いただくためには、3年に1度専門技術者による定期点検(有料)を行ってください。定期点検を怠ると、家屋や家財などの損害に結びつく場合があります。

定期点検整備は、温水器本体・機能部品・消耗部品などの点検・交換・清掃を行います。

なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては公益社団法人日本水道協会発行の維持管理指針に基づいて点検してください。時期は3年に1回程度をおすすめします。

逃し弁・減圧弁などは、設置条件・使用条件・特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品であり、定期的な点検が必要です。

長年にわたり(10年程度)使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年です。長年使用されている場合、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

定期点検整備のお申し込みやお問い合わせは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

定期点検整備の主な内容

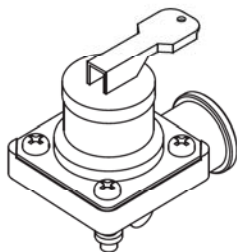
項目	内容
据付状態の点検	配管接続部の水漏れ確認、電気絶縁チェック、設置状態の確認
機能部品の点検	逃し弁の水漏れ確認、減圧弁の確認、逆止弁の確認、電気部品(配線・導通)動作確認、その他消耗部品の確認
清掃・整備	タンク下部のスケール沈殿物の排出、ストレーナ(フィルター)の清掃、機能部品の清掃

消耗部品について

逃し弁、減圧弁などは消耗部品です。水質などの使用環境や使用状況によっては、3年程度で劣化する場合があります。点検の結果、部品交換が必要な場合、部品交換に要する費用はおお客様にご負担いただきます。

逃し弁

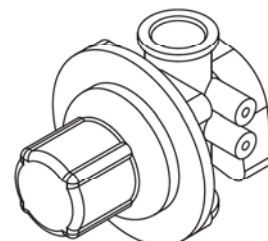
水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁

減圧弁

水質によっては、減圧弁のダイヤフラム(ゴム製)の弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



減圧弁

○その他の消耗部品:ヒーター・パッキン類・ホース類・その他部品(ミキシングバルブ、逆止弁)

上記消耗部品の交換は当社の純正部品をご使用ください。

よくあるご質問

- 電源スイッチが「ON（入）」になっているのにランプが点灯しない
電源スイッチは湯沸し中のみ点灯します。お湯が沸き上がると消灯し、タンク内の湯温が下がると湯沸しを再開し、点灯します。
- 温水器本体が熱くなっている
タンクの放熱により、温水器本体が熱くなります。故障ではありません。
- 膨張水排水口より排水部材へお湯が出ている
湯沸し中（電源スイッチ点灯中）に膨張水排水口より排水部材へ水（お湯）が出てくるのは、故障ではありません。タンク内の水がお湯になるときの膨張水が膨張水排水口より排水部材へ排出されます。
- お湯から油が出る、お湯が臭い
初めてご使用のとき、お湯や水に油が浮くことがあります。これは、配管工事の際の油が残っているためです。1週間くらい使用すると消えて正常になります。
- お湯が白く濁って見える
水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されるため、細かい気泡となって出てくる現象で、全くの無害です。
- 使用中にお湯がぬるくなる（水になる）
電気温水器はタンク内に貯めたお湯を使用するため、お湯を連続して使用するとお湯がなくなり、水になることがあります。タンク内のお湯がなくなると沸き上げに時間がかかります。（▶▶ P8 運転（湯沸し）のしかた）
また、給湯開始直後は湯温が安定しないことがあります。

故障・異常の見分けかたと処置方法

故障かな？と思ったら

こんなとき	原因	処置と確認内容
お湯が出ない お湯の出が悪い	断水している	水道局にお問い合わせください (断水が終わるまでお待ちください)
	給水配管止水せんが閉まっている	給水配管止水せんを開いてください
	2か所以上同時給湯している	同時に給湯すると、1か所あたりの出湯量が少なくなります。
	配管が凍結している	販売店にご相談ください
	温水器給水口のストレーナが目詰まりしている	ストレーナを清掃してください。(▶▶▶ P11)
	給水配管止水せんのストレーナが目詰まりしている	
お湯が沸かない	分電盤などの漏電しゃ断器、温水器用の電源ブレーカーが「OFF(切)」になっている	「OFF(切)」になっているときは「ON(入)」にしてください ※2、3度続く場合は故障のおそれがありますので、販売店にご相談ください
	電源スイッチが「OFF(切)」になっている	「OFF(切)」になっているときは「ON(入)」にしてください
	電源プラグがしっかりと差し込まれていない	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください
お湯が不足する お湯がぬるい	湯沸し中(電源スイッチが点灯中)	お湯が沸くまでお待ちください
	配管などから水が漏れている	販売店にご相談ください
	湯沸し中(電源スイッチ点灯中)以外のときに、膨張水排水口から排水部材へお湯や水が流れている	逃し弁の点検をしてください(▶▶▶ P10) ※お湯や水が止まらないときは販売店にご相談ください
床が濡れる 水が漏れる	給水配管が結露している	販売店にご相談ください
	配管などから水が漏れている	給水配管止水せんを閉め、電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください

温水器からブザーが鳴っている場合

- ・温水器内部で水漏れしている可能性があります。
- ・給水配管止水せんを閉め、電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

仕様

品番(機種名)	EH-06	
設置区分	屋内設置用	
タンク容量	約6L	
定格	電源	AC 100V 50/60Hz
	ヒーター消費電力	600W
外形寸法(mm)	高さ	547.5mm
	幅	290mm
	奥行き	145mm
質量(kg)	本体	7.5kg
	満水時	13.5kg
給水方式	先止め式 水道直結(減圧弁方式)	
最高使用圧力	100kPa	
減圧弁設定圧力	80kPa	
沸き上げ温度	約75°C	
給湯温度	約36°C	
接続口径	給水接続口	G1/2ねじ(15A)
	出水(同圧給水)接続口	G1/2ねじ(15A)
	給湯接続口	G1/2ねじ(15A)
	膨張水排水口	φ7.5 タケノコ
	排水口	φ10 ホース口
自動温度調節器	バイメタル式	
電源コード	接地極付電源プラグ(約0.9m)	
使用可能雰囲気温度	1°C~40°C	
安全装置	温度過昇防止器、アース端子(接地極付電源プラグ)	
漏水検知機能	電極式 温水器内漏水検知時ブザー警報	

MEMO

保証書

お客様	お名前 様
	ご住所 〒
	TEL ()
販売店	印
	TEL ()
お買い上げ日	年 月 日

品名	小型電気温水器
品番	EH-06
保証期間	お買い上げ日から 1年間

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げ販売店またはお客様相談窓口に出張修理をご依頼のうえ、修理の際は、本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または修理受付フリーダイヤルへご相談ください。
- 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
 - 一般的な洗面器や流し台以外（例えば車両、船舶への搭載など）で使用された場合の故障および損傷
 - 使用上の誤り、維持管理の不備および不当な修理や改造による故障および損傷
 - メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解等に起因する不具合
 - お取り付け後の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - 弊社指定の純正部品（または別売部品）を使用せず、これが原因となる故障および損傷
 - 塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う外観上の現象
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合
 - ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
 - 消耗部品の消耗に起因する不具合
 - 異常電圧（ノイズなど）、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障および破損
 - 給水・給湯配管の錆や、砂、ゴミ等異物流入による不具合。
 - 温泉水、井戸水などで水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水の使用や異常水圧に起因する不具合
 - 凍結に起因する不具合
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお客様名、販売店名、お買い上げ日の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
 - 離島または離島に準じる遠隔地へ修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合は、修理受付フリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付フリーダイヤルへお問い合わせください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

☎ 0120-557-910

アフターサービス

【サービス（点検・修理）を依頼される前に】

よくあるご質問（▶▶ P18）の項と故障・異常の見分け方と処置方法（▶▶ P19）の項をもう一度ご確認ください。確認の上でそれでも不具合のある場合あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

【保証について】

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

- ・保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
- ・保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

【補修用性能部品の保有期間について】

- ・この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

【故障・修理の際の連絡先】

- ・保証期間経過後、修理を依頼されるときは、まずお買い上げの販売店に相談してください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスのご依頼や不明な点のお問い合わせは、お買い上げの販売店へご連絡ください。販売店連絡先がおわかりにならない場合は、下記WEBサイトまたはフリーダイヤルにご連絡ください。

WEB 【タカラスタンダードお客さまサポートサイト】

<修理のご依頼> <よくあるご質問>

<https://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>



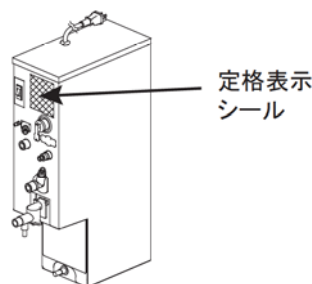
お電話  0120-557-910

※PHS・携帯電話・IP電話等で一部通話ができない場合があります。

【修理を依頼される際のお願い】

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名、品番、製造番号（定格表示シールに記載）
- (2) 異常の状況
- (3) ご購入年月日
- (4) お名前、ご住所、お電話番号



【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。

部品代 修理に使用した部品代金です。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※お客様の個人情報について

個人情報保護に関する法令を厳守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

愛情点検 ※ 長年ご使用の電気温水器の点検を！



こんな症状はありませんか

- ・設置場所が濡れている。
- ・お湯がぬるい。
- ・お湯が熱い。
- ・湯沸し中以外に逃し弁から水が漏れる。
- ・その他の異常、故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、電源プラグを抜き、給水配管止水せんを閉めてから販売店（据付工事店）または、修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談ください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号



* 1 1 0 2 9 3 9 1 *

22B-5
EH06トリセツ